



笠間市の学校と地域をつなぐ教育情報誌



第22号

令和3年3月22日発行

笠間市教育委員会  
教育部生涯学習課

# つなぐ

笠間いばり市司推進キャラクター  
笠間特別観光大使  
笠間のいな吉®



## 祝 いばらきっ子郷土検定笠間大会 笠間中学校 初優勝



いばらきっ子郷土検定とは、県内の中学2年生が、各市町村や県に関する問題(50問)に取り組み、各学校の平均点で競い合います。

今年度は、笠間中学校が笠間市大会で見事初優勝を飾りました。笠間中学校の代表3名が笠間市代表として県大会に出場する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、県大会は中止になってしまいました。

県大会の代わりに、2月25日(木)にオンラインによる交流戦を行いました。代表の3名の生徒が、協力をして問題に取り組みました。

### ～代表生徒の感想紹介～

菅井 上総さん

郷土検定を通して、茨城県や笠間市の郷土について興味を持ちました。オンライン交流会では、たくさんの中学生と交流することができ、とても有意義な時間でした。茨城県や地元笠間市の郷土について、今後もさらに知りたいと思いました。

先崎 花音さん

郷土検定を通して、茨城県や笠間市のさまざまな良さを知ることができました。県大会ができなかったのは残念ですが、今回学んだことをたくさんの人に伝え、自分の生活に活かしていきたいと思えます。とても良い思い出になりました。

青木 星之介さん

郷土検定を通して、笠間市のことを深くまで知ることができました。また、仲間と協力することの楽しさや共に助け合ったり、励まし合ったりすることの大切さを学ぶことができました。このメンバーで戦えてよかったと思っています。

### ～郷土検定説明会～



早押し機を使って、先生と対決しました！

### 先生からメッセージ

三好先生

初めての県大会出場が決定し、最高にうれしかったです。優勝することができたのも、郷土検定へ向けてどのクラスもがんばって取り組んだ成果だと思います。

県大会は、残念ながら中止となりましたが、交流会では代表生徒3名が協力しながら、楽しそうに問題を解く姿が見られました。来年こそは県大会の雰囲気を感じられるように、また頑張ります。

クイズ

問1 笠間市で一番高い山はどれでしょう。

- ① 吾国山(わがくにさん) ② 金毘羅山(こんぴらさん)
- ③ 難台山(なんだいさん) ④ 愛宕山(あたごさん)

問2 茨城県内で一番面積が広い市町村はどこでしょう。

- ① 大子町 ② 笠間市
- ③ 常陸太田市 ④ 筑西市



# ～「コミュニティ・スクール」各学校の取り組み～

## コミュニティ・スクールとは

コミュニティスクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の5）に基づいた仕組みです。

（文部科学省より）



## 笠間小・笠間中



来年度実施へ向けて、12月11日に笠間小・笠間中学校合同で研修会を行いました。

先生・保護者・地域の皆さんと目指す子どもの姿について、グループで話し合いました。

地域の方からは、「子どもたちと元気なあいさつをしていきたい」とありました。自然にあいさつが交わされる地域を目指したいです。

## 稲田小・稲田中 今年度より実施

第1回稲小・中合同学校運営協議会



6月23日（火）実施

今年度より稲田小・中でコミュニティ・スクールを実施しています。「コミュニティ・スクールだより」を発行し、回覧板を通して、地域の方にも活動の様子を紹介しています。また、「児童生徒防犯見守り隊」を結成し、登下校中の子どもたちの安全を守る地域の体制づくりを行っています。現在28名の方に活動していただいております。



稲田小・中コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入へ  
 有知2年度より、稲田小学校と稲田中学校は、「コミュニティ・スクール」を導入することになりました。コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設けた学校のことです。  
 各、学校は自治会や町会や地域の学校法人などとの協働により、学校の運営に協力し、子供たちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを進めようとしています。

コミュニティ・スクールは、地域とともにある学校づくりへの推進を促すために有効な仕組みです。学校の教育活動や子育ての推進に、学校運営協議会を設けることで、より効果的、さらに、学校運営に地域の皆様も参加できます。稲田小・中ともに今年度より導入されています。

稲田小学校では、第1回稲小・中合同学校運営協議会、6月23日（火）に、開催いたしました。

今年度の学校運営協議会では、稲田小・中、学校運営協議会制度の目的・目標及び活動の方向性について、協議して今後の活動について話し合いました。その中で、稲田小・中両校の協働の推進を図り、児童生徒の豊かな成長を支えるための取り組みについて、協議しました。また、稲田小・中両校の協働の推進を図り、児童生徒の豊かな成長を支えるための取り組みについて、協議しました。また、稲田小・中両校の協働の推進を図り、児童生徒の豊かな成長を支えるための取り組みについて、協議しました。

## 宍戸小



来年度実施へ向けて、3月11日に学校運営協議会準備会が行われました。

会長・副会長を決め、組織作りを確認しました。

宍戸小学校には、現在45名の宍戸小ボランティアさんがいます。ボランティア活動計画表を作成し、地域とのつながりを大切にしていきます。

## 学校運営協議会とは

コミュニティ・スクールには、学校・保護者や地域の代表の方で構成される「学校運営協議会」が設けられています。

学校運営協議会では、学校運営の基本的な承認をしたり、教育活動について意見を出し合ったりします。

今後、つなぐ通信を通して、各学校のコミュニティ・スクールの取組を紹介していきます。

子どもたちが活躍できるためにも、学校・家庭・地域が強力なスクラムを組んでいきたいですね。

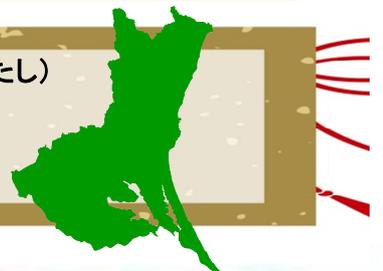
答え

問1 ③難台山（なんだいさん） 問2 ③ 常陸太田市（ひたちおおたし）

笠間市と石岡市の境に位置し、標高553mである。

常陸太田市 371.99 km<sup>2</sup>で第1位

笠間市 240.40 km<sup>2</sup>で第5位



【お問合せ先】笠間市教育委員会教育部生涯学習課

担当 三澤

〒309-1792 笠間市中央 3-2-1

TEL 0296-77-1101 内線 380

FAX 0296-71-3220



笠間市の学校と地域をつなぐ  
 「つなぐ」通信  
 学校運営協議会「つなぐ」  
 方々各町会や協会の出題先

